

吉島病院にご来院の皆様へ

梅雨が明けたとはいえはっきりしない気象状況で、高温多湿のため、こまめな熱中症対策が必要な日が続いています。

さてコロナウイルス感染拡大も、ようやく6波が収束したと思われましたが、6月末より再度患者数の急激な増加が見られ、7月11日には7波に突入したと報道されました。今回の流行はオミクロン株の亜型であるBA.5によるものと考えられています。従来のオミクロン株（BA1.2）と比べ、感染力が1.2倍で、ワクチンや既感染による抗体をすり抜けることが多いが、毒性はあまり変わらないと報告されています。広島県でも患者数が急増していますが、入院患者数は100名程度に留まっており、重症の方はほとんどおられないため、医療現場はまだ落ち着いています。政府は行動制限を求めず、感染対策の強化、医療体制の維持とワクチン接種にて対応する方針のようです。当院でも7月7日より4回目のワクチン接種を開始いたしましたので、対象の方は随時実施していただきたいと思います。

いくら風邪に近くなったとはいえ、感染しない・重症化しないことに越したことはありません。引き続き、節度を持った行動を心がけてください。何とぞよろしく願い申し上げます。

令和4年7月12日 吉島病院 院長 山岡直樹